

やる気と笑顔にあふれ ともにかがやく 学校をめざして



曾根小だより

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立曾根小学校
新潟市西蒲区曾根 750 番地
全校児童 172 名 (家庭数 138)
令和7年12月16日発行



「訪問時のマナーを守りましょう」



校長 古井丸 裕三

令和7年(2025年)もあとわずかになりました。年末になると一年間を振り返る機会が多くなりますが、学校では4月始まりの意識が強いためか、どうしても1月から3月のことは前の年のことのような気がしてしまいます。今年の初めは入学前の園児だった1年生の子どもたち、前任校の子どもたちと一緒に過ごしていた転勤してきた教職員、職場や家庭の環境が大きく変わった保護者のみなさんにとっては、気持ちを張り詰めることが多い特に大変な1年だったと思います。この年末年始の期間に、意図的に「余白」の時間をもつことで、新しい年にチャレンジするエネルギーを心と身体に充填していただければと思います。

さて、24日から子どもたちが楽しみにしていた冬休みです。家庭で留守番をして過ごす子、ひまわりクラブで過ごす子、祖父母宅で過ごす子、学習塾や習い事、スポーツクラブの練習に通う子など、過ごし方は様々だと思いますが、それぞれの場所で、安全で楽しく有意義な休みを過ごすことを願っています。

冬の厳しい気候もあり、冬休みは家の中で過ごすことが多くなります。自分の家で過ごすだけでなく、友達の家にお邪魔する機会も増えるでしょう。そこで心配されるのが、訪問時のマナーです。お子さんは訪問したお宅でこんなことをしているかもしれませんか？お子さんがどのように過ごしているか把握していますか？

【こんな子どもの姿に困っています】



- 家の人にあいさつをしない 時間を考えずに訪問する(早朝から、朝から晩まで、大晦日やお正月に)
- 家の中で大騒ぎをする(走り回る、跳んだり跳ねたりする) 大声で話したり笑ったりしてうるさい
- 言葉遣いが悪く内容が聞くにたえない 家の人の前で平気でその子の悪口を言う、馬鹿にする
- ゲーム機やタブレットなどを独り占めする(その家の子も使えない) その家の兄弟に意地悪をする
- 家の人に注意をされても素直に話を受け止めない(無視する、ふてくされる、「嫌だ」と言い返す)
- 冷蔵庫を勝手に開けて中の物を飲んだり食べたりする 引き出しを開ける、いろいろな部屋に入る
- 出されたおやつに文句を言う(「このおやつおいしくない」「違うおやつが良かった」「量が少ない」と言う)
- 出されたおやつを他の子に分けずに食べ尽くす(その家の子も食べられない)
- おやつや食事を出すように繰り返し要求する 友達の持ち物やその家にある物を勝手に持ち帰る
- 友達本人がいないのにその家に上がり込む どこの家で遊ばせてもらったのかを親に話していない

上記のことは全て保護者・地域の方から聞いた実話です。礼儀を欠いたこれらの行為をとても残念に思います。いくら「地域の子どもは、地域のみんなで育てる」といっても我慢の限度はあります。学校でも休み前に指導しますが、訪問時のマナーをきちんと教えることができるのはやはり親だと思います。「うちの子は大丈夫」と過信せず、お子さんの訪問先での過ごし方をよく把握するとともに、どのようなことに気を付けなければならないかを親子で確認しておく必要があります。何か困ったことがあつたらすぐに情報共有できるよう、ご家庭同士で連絡先を交換しておき、あらかじめコミュニケーションを取っておくことも一手です。「ありがとうございます」「お手伝いします」「お互い様」、地域でそんな親同士の会話が交わされたらすきですよね。この機会に、家庭・地域・学校みんなで、子どもたちの健全育成について考えてみましょう。

● 新潟市こども体験活動事業「和太鼓をたたいてみよう！」12月4日(木)



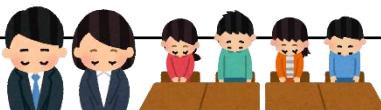
西川地区公民館との共催事業として、代官太鼓「鼓調」のみなさんからお越しいただき、体験活動「和太鼓をたたいてみよう！」を開催しました。個別懇談の期間であったため放課後の時間を使って行われましたが、ひまわりクラブに通う子どもたちも含め、定員をはるかに上回るたくさんの子どもたちが参加しました。はじめはおそるおそるたたいていた子どもたちでしたが、みるみるうちに上達し、最後には全体を使って力強くたたけるようになっていました。地域の歴史と文化に触れる貴重な体験の機会となりました。

● 灯籠展 西川図書館エントランスホール 最終日12月25日(木)15:00で終了



秋の「土曜参観・絵画展」の際に各家庭で制作していただいた灯籠を、西川図書館のクリスマス飾りとあわせて展示しました。スペースの関係で一部の作品しか展示することができませんでしたが、地域の伝統行事として行われてきた「校祖祭」の灯籠づくりが、現在も形を変えて受け継がれていることを知つていただくよい機会となりました。既に子どもが卒業した地域のみなさんの作品やこれから小学校に入学する園児のみなさんの作品も展示させていただきました。ご参加いただきありがとうございました。展示終了まであと一週間となりましたが、図書館を訪れた際に足を止めてご覧いただければ幸いです。

曾根小学校では、校祖・新保正興先生と「校祖祭」に関する行事を、学校の歴史と伝統を受け継ぐために大切なとして位置付けています。それが「愛校心」に yo つながり、さらに「地域への愛着と誇り」につながると考えているからです。これからも、学校づくりが地域づくりにつながる活動を続けていきます。



★ 感謝の気持ちでいっぱいです！

年末にあたり、当校の教育活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。私たち曾根小学校の教職員は、この地域の子どもたちの健やかな成長を願い、教育への情熱とやりがいをもって日々の業務に取り組んでいます。教職員のウェルビングは、保護者・地域のみなさんから「支えられている」という実感から生まれます。新しい年も、変わらぬご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。